

公益社団法人私立大学情報教育協会

平成26年第2回CCC教育学グループ運営委員会 議事録

- I. 日時 平成26年8月1日(水) 10:30~12:30
- II. 場所 公益社団法人私立大学情報教育協会 事務局会議室
- III. 出席者 舟生委員、三尾委員、竹熊委員 事務局 井端事務局長、森下主幹
- IV. 資料

- ・平成26年第1回CCC教育学グループ運営委員会 議事録
- ・平成26年度CCC教育学グループ運営委員会名簿
- ・教育学教育におけるアクティブ・ラーニングの事例研究開催要項
- ・参考1:アクティブ・ラーニングとはなにか
- ・参考2:「学ぶ」から「できる」へー経営系科目のアクティブ・ラーニングー

議事概要

1. 教育学アクティブ・ラーニング事例研究の対話集会の進め方について

(1) 能動的学修の課題について以下の説明があった。

- ・能動的学修が行われているが学修成果の確認が重要である。授業の目標に対して成果が出ないことで。苦勞している先生が多い。
- ・対話集会で学修成果を出せる授業について意見交換する
- ・話題提供を行い。対話集会参加者からアイデアを出していただく。
- ・今後3年間で次のように進める。

平成26年度:各分野の対話集会、平成27年度:各分野間の連携

平成28年度:大学間の連携で公開授業。授業見学等

(2) 本年度のアクティブ・ラーニング研究対話集会

- ・事例紹介が中心でなくアクティブ・ラーニングの課題を研究する話題提供を中心にする。
- ・ICTの活用例やシステムの紹介に終わることなくアクティブ・ラーニング促進に向けた取組みを促進させる。
- ・参加者はアクティブ・ラーニングの事例としてFSPの事例
講演資料「主体性を育む授業とは(PBL授業の重要性)」安西祐一郎氏
- ・長崎大学のアクティブ・ラーニング関連資料などを事前閲覧していただく。

(3) 研究対話集会の開催要項について

プログラムの時間配分は、(1)(2)で1時間(3)(4)で1時間とする。

- ・開催日時 平成26年11月22日(土) 14:00～16:00
- ・開催場所 早稲田大学
- ・プログラム ①「授業の実践力を促進するための協調型学修の工夫」舟生 委員
②「授業アンケートを用いたアクティブ・ラーニングの検証」三尾委員
- ・運営の役割
② 委員会の研究の経過 三尾委員
② 司会進行 竹熊委員

2. 次回委員会

次回委員会は 平成26年11月22日(土) 14:00～16:00の対話集会とした。

以上